

## 平成25年司法試験 合格体験記

平成24年度修了（未修コース）片山 雄太

こんにちは。私は7期末修コースを修了し、平成25年度司法試験に合格することができました。入学から合格までの3年半の期間を振り返ると決して楽しかったことばかりでなく、むしろ辛かったことの連続でした。しかし、それでもなんとか乗り越えることができたのは、岡大ローの教員や職員の方々のサポートや友人たちとの交流があったからだと思います。いくつか印象に残っていることをお話しさせていただきます。

岡大ローの修了生がみなさんおっしゃることですが、岡大ローでは学生と教員との距離がとても近く、いつでも勉強の疑問点について質問できる雰囲気があります。また、オフィスアワーの制度がありますし、多くの先生方はオフィスアワーの時間帯以外にも質問を受け付けてくださいます。私も疑問に思ったことを授業の前後の時間によく質問をしていました。先生方はいつも丁寧に質問に答えて下さり、とても勉強になったことを覚えています。

また、資料室も利用しやすくなっています。資料室の職員の方々は学生一人ひとりの顔と名前を覚えてくださっていて、いつも声をかけてくださいました。さらに、2年生、3年生の頃になると私がよく手に取る法律雑誌も覚えてくださり、新刊が出ると「今月のが出たよ。」と言って知らせてくれることもありました。このように資料室はとても温かい雰囲気です。資料集め以外のときにも勉強の息抜きによく利用していました。

そして、なにより、友人たちとのゼミが勉強の支えでした。ひとりではどうしても怠けてしまいますが、ゼミの時間に半ば強制的に集まることで勉強のリズムを保つことができたのです。ゼミでは、答案を見せ合い、お互いに答案について意見を出し合うことをしていました。議論は盛り上げることが多く、時にはケンカのようになることもありました。それでもケンカを乗り越えて更に意見を出し合うことで（またはケンカをしている2人を宥めることで）ゼミに独特の連帯感が生まれたように感じます。結局、このときゼミを組んだメンバーとは司法試験の直前まで一緒に勉強をしていたし、司法修習生となった今でも勉強会をしています。

法科大学院生は、（経済的負担を抱えつつ）卒業に必要な単位を取り、さらに司法試験に向けた勉強をしなければなりません。それは体力的にも精神的にも辛いものだと思います。しかし、私は、岡大ローに上に書いたような充実した環境があったので何とか乗り越えることができました。このような環境を用意してくださった教職員の皆様や友人たちにはとても感謝しています。

最後になりますが、これから岡大ローで司法試験を目指す方には、岡大ローの充実し

た環境を最大限に利用し, 自分の能力を高めて合格の栄誉を勝ち取っていただきたいと思います。